

日本政策投資銀行から6年連続「BCM格付」の最高ランクを取得



「DBJ BCM格付」認定証

当社は、このたび株式会社日本政策投資銀行（以下、「DBJ」という。）が実施する「DBJ BCM格付」において、2014年度から引き続き、6年連続で最高ランクの格付を取得しました。

「DBJ BCM格付」は、DBJが開発した独自の評価システムにより、防災および事業継続への取り組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「BCM格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューであり、今回の審査では、

- (1) 災害発生時における早期復旧支援を目的とした総合建設事業者各社との協定の締結に加え、支援協定の締結先を専門工事事業者にまで拡充し、有事における事業継続の実効性を高めている点
- (2) 当社が京浜トラックターミナルを構える「南部流通業務団地」の全地権者による協議会を新たに立ち上げ、都市部の流通機能早期回復を目指す地域連携BCPの構築に向けた取り組みを開始した点
- (3) 毎年実施する事業継続リスクアセスメントにより洗い出した個別リスクに対し、全従業員を対象に研修や内部管理の強化策導入を行うことでリスクの見直しに繋げるなど、事業継続マネジメント体制の高度化に向けてPDCAサイクルを活用し、不断の努力を積み重ねている点

等の取り組みが評価され、「防災および事業継続への取り組みが特に優れている」という最高ランクの格付を6年連続で取得しました。

当社は、今後も引き続き防災および事業継続の取り組みを積極的に進め、「災害に強いトラックターミナル」を構築してまいります。

以上